



安全対策連絡協議会

(2024年9月)

在アルゼンチン日本国大使館

【殺人事件】

2.1. Homicidios dolosos⁹

La tasa de homicidios dolosos en 2023 fue de 4,4 cada 100.000 mil habitantes, la segunda más baja de la serie.

Gráfico 2: Víctimas de homicidios dolosos por año. Valores absolutos y tasas cada 100.000 habitantes. República Argentina. Años 2014-2023



Fuente: Sistema Nacional de Información Criminal - Sistema Alerta Temprana (SNIC - SAT), Ministerio de Seguridad de la Nación e INDEC.

Tabla 4: Víctimas de homicidios dolosos por sexo. Valores absolutos y participación. República Argentina. Años 2017-2023

Años	Masculino		Femenino		No consta		Total
	Cantidad	Porcentaje	Cantidad	Porcentaje	Cantidad	Porcentaje	
2017	1.908	82,5%	405	17,5%	-	-	2.313
2018	1.988	83,4%	396	16,6%	-	-	2.384
2019	1.896	82,1%	408	17,7%	4	0,2%	2.308
2020	2.044	84,5%	372	15,4%	2	0,1%	2.418
2021	1.786	85,3%	308	14,7%	-	-	2.094
2022	1.613	82,4%	345	17,6%	-	-	1.958

【強盗】

2.4. Robos totales (robos, robos agravados por el resultado de lesiones y/o muertes y sus tentativas)

La tasa de robos totales¹³ en 2023 fue de 1.059 cada 100.000 habitantes, 14,2 % superior a 2022.

Gráfico 8: Hechos de robo y tentativa de robo por año. Valores absolutos y tasas cada 100.000 habitantes. República Argentina. Años 2014-2023



Fuente: Sistema Nacional de Información Criminal - Sistema Alerta Temprana (SNIC - SAT), Ministerio de Seguridad de la Nación e INDEC.

Respecto al tipo de robos, se observa un descenso del 15,5% en la cantidad de robos agravados por lesiones o muertes.

(出典: 2023年アルゼンチン治安省統計資料)

- 2023年 殺人事件発生件数: 2046件(人口10万人あたり4.4件) 前年比3.3%上昇
- 2023年 強盗件数: 494,058件(人口10万人あたり1059件) 前年比14.2%上昇

アルゼンチン全国治安統計による様態別・地域別比較

	殺人				傷害 (暴行等)				強盗 (モトチョロス等、未遂含む)				窃盗 (ひったくり等、未遂含む)							
	地域	2020	2021	2022	2023	地域	2020	2021	2022	2023	地域	2020	2021	2022	2023	地域	2020	2021	2022	2023
各 犯 罪 別 発 生 率	サンタフェ州	10.5	10.1	11.3	11.0	メンドーサ州	555.4	655.6	840.0	813.7	ブエノスアイレス市	1,306.3	1,652.6	2,045.6	2,393.6	ブエノスアイレス市	903.6	1,261.8	1,870.2	2,164.8
	チャコ州	/		4.0	5.0	サルタ州	710.3	682.6	736.0	758.2	コルドバ州	1,137.4	1,228.5	1,383.0	1,857.9	サルタ州	1,028.7	1,265.1	1,412.1	1,468.2
	ブエノスアイレス州			5.3	4.7	4.1	4.6	トゥクウマン州	373.9	429.6	639.1	629.5	ネウケン州	1,722.9	1,929.6	1,970.2	1,846.3	サンフアン州	864.7	874.7
	チュブット州	5.2	4.6	5.6	4.6	フォルモサ州	552.9	563.8	563.8	556.2	メンドサ州	817.1	1,035.2	1,439.5	1,528.4	コルドバ州	728.0	840.8	979.2	1,209.7
	トゥクウマン州	9.0	6.1	4.7	4.6	サン・ルイス州	495.7	373.7	548.5	554.1	サルタ州	1,208.9	1,349.7	1,396.0	1,507.8	カタマルカ州	616.5	729.1	820.9	1,192.6
参 考	ブエノスアイレス市	4.1	3.3	2.9	3.0	ブエノスアイレス市	385.9	412.7	357.7	372.5	/				/					
	/					ブエノスアイレス州	271.6	355.6	382.9	379.0									ブエノスアイレス州	661.2
						全国平均	5.3	4.6	4.2	4.4	全国平均	314.7	357.3	383.4	379.8	全国平均	799.2	860.4	927.2	1,059
	日本平均	0.7	0.7	0.7	0.7	日本平均	37.1	35.5	44.1	47.0	日本平均	1.1	0.9	1.6	1.1	日本平均	331.6	304.1	370.1	389.0

●ブエノスアイレス市は、全国的に最も強盗・窃盗が多く、増加傾向。
●同市での10万人当たり強盗発生件数を、日本での平均値と比較すると、約2000倍以上に達する。

(表は2023年亜治安省統計を基に当館取りまとめ。数値：人口10万人当りの発生件数)

2024年邦人被害状況

	時期	場所	内容
1	1月	パレルモ(バス内)	スマホのひったくり
2	2月	コンストゥシオン(ホテル)	同部屋人によるバックの置き引き
3		市内(ホテル)	ホテルでのバックの置き引き
4		レティーロ駅(路上)	スマホひったくり
5		パレルモ(路上)	モトチョロスによるスマホの強盗
6	3月	ボカ(路上)	スマホひったくり
7		ベルグラノー(ホテル)	ホテルロビーでのバックの置き引き
8		レティーロ駅(路上)	スマホひったくり
9		ボカ(車内)	タクシーでのスマホの置き忘れ(盗難)
10	4月	サンニコラス(公園)	ケチャップ強盗によるバックのひったくり
11		コロソ劇場	バックの置き忘れ(盗難)
12	5月	レティーロ駅バスターミナル	タクシー運転手による置き引き
13	7月	サルミエント通り(空港南側)	貴重品強奪(暴行被害、銃器使用)
14		ボカ(路上)	貴重品強奪(暴行被害)

(表は2024年に当館が報告を受けた内容)

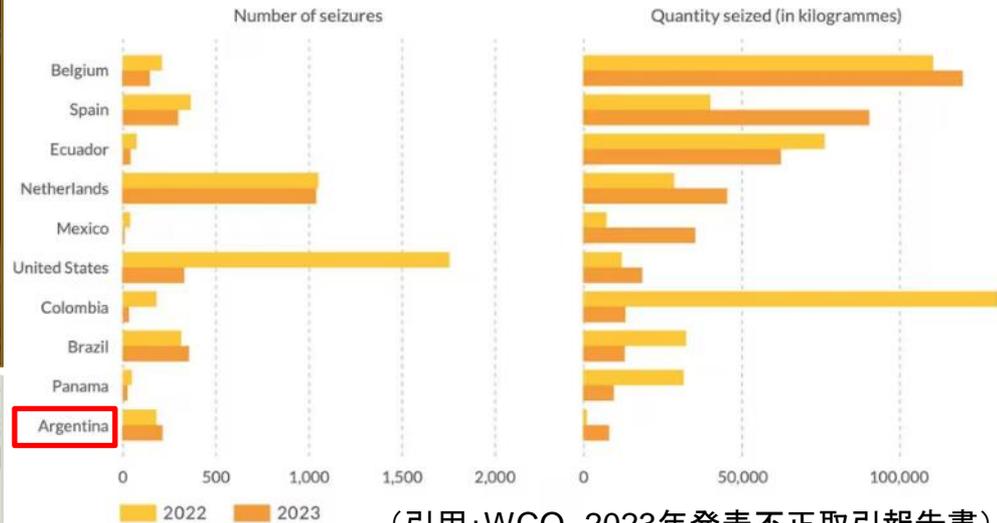
- 2024年、邦人被害報告14件。全てBA市内で発生。
- 2023年、BA市内及び同市周辺でのスマホの窃盗被害、月平均3000件(報告ベース)

【パレルモ】ナイトクラブでの銃撃

6月17日朝7時頃、パレルモのナイトクラブの出口にて17歳男性が銃撃を受け、搬送先の病院で死亡。被害を受けた男性の所持品から、コカインとケシ袋が確認され、麻薬関連のトラブルがあったとの疑い。現場では、銃撃の流れ弾を頭部に受けた他の未成年も搬送されている。



Figure 16: Top 10 countries by number of cocaine seizures and quantity seized (in kilogrammes), 2022-2023



(引用:WCO 2023年発表不正取引報告書)



- 世界税関機構(WCO)2023年不正取引報告書発表、アルゼンチンはコカイン押収で世界10位。
- 武器の密輸、所有登録外の武器の数は数百万丁。武器・薬物関連事件は依然として社会的問題。



走行車両を標的とした事件

8月25日夜8時頃、国道9号線(サラテ付近)を走行中の自動車が、道路上に敷かれた梁の上を走行し、パンクにより停車した途端に銃撃され、車の窓ガラスを割られるとともに、3~4人組の賊に貴重品を強奪された。

3月21日夜8時頃、ブエノスアイレス市ベルグラノー地区を走行中の自動車が、高架橋から鉄パイプを投げられ、フロントガラスが突き破られる事件が発生。運転手にけがはなかった。



※イメージ



- 夜間、人通りの少ない地域で走行車両を狙った強盗が頻発。
- 不審な投石等の車両への被害を受けた際でも**極力走行を止めない着意**。強盗団が迫る危険性。



議会審議に反対するデモ活動の過激化

6月12日、連邦議会議事堂周辺において、自由推進法(Lay de Bases)及びパッケージ法案の上院審議に抗議する左派活動組織等の団体によるデモ活動が行われ、一部の者による投石、火炎瓶の投下、車両やゴミ箱等への放火等の過激な抗議行為により、治安機関と衝突した。



- ハビエル・ミレイ政権発足以来最も深刻な政治的暴力デモ事件として評価
- 警察は、過激化・暴徒化したデモ隊を放水銃、非殺傷性ゴム弾の射撃等で鎮圧。(警察被害者発生)

セントロ周辺の主要デモ多発地域

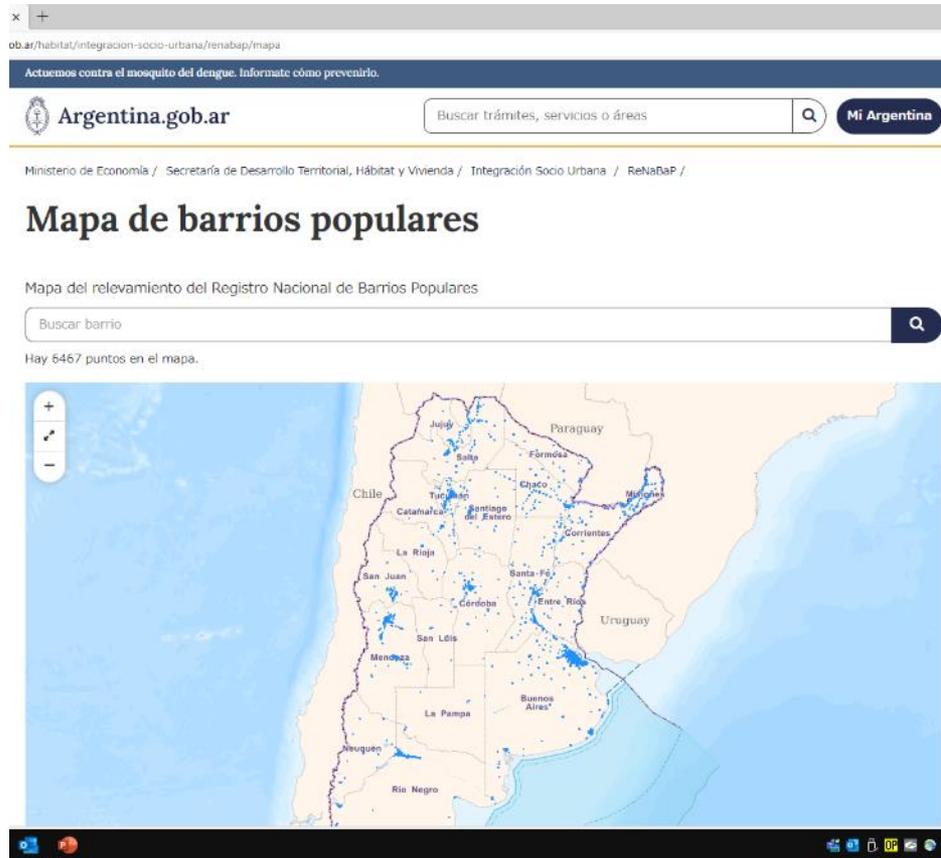


●デモにより、セントロ方面への道路状況に影響が発生しやすい。
→外出前にTV・ラジオ情報やナビアプリ「Waze」等を活用して、状況把握が必要。

番号	名称	行政区画名	人口(人)
①	Villa Calacita	Villa Soldati	750
②	Villa 17, Pirelli	Villa Lugano	1,080
③	Villa 16, Emaus	Villa Riachuelo	350
④	Villa 13 bis	Bajo Flores	550
⑤	Villa 15, Oculta	Villa Lugano	24,000
⑥	Villa 3, Fátima	Villa Soldati	11,000
⑦	Villa 6, Cildañez	Villa Lugano	13,000
⑧	Villa 1-11-14	Bajo Flores	40,000
⑨	Villa 20	Villa Lugano	24,000
⑩	Villa 21-24	Barracas	45,000
⑪	Villa 19, INTA	Villa Lugano	5,000
⑫	Villa 31 y 31bis	Retiro	25,987
⑬	Villa 26, Riachuelo	Barracas	1,100
⑭	Villa Los Piletones	Villa Soldati	5,200
合計			197,017



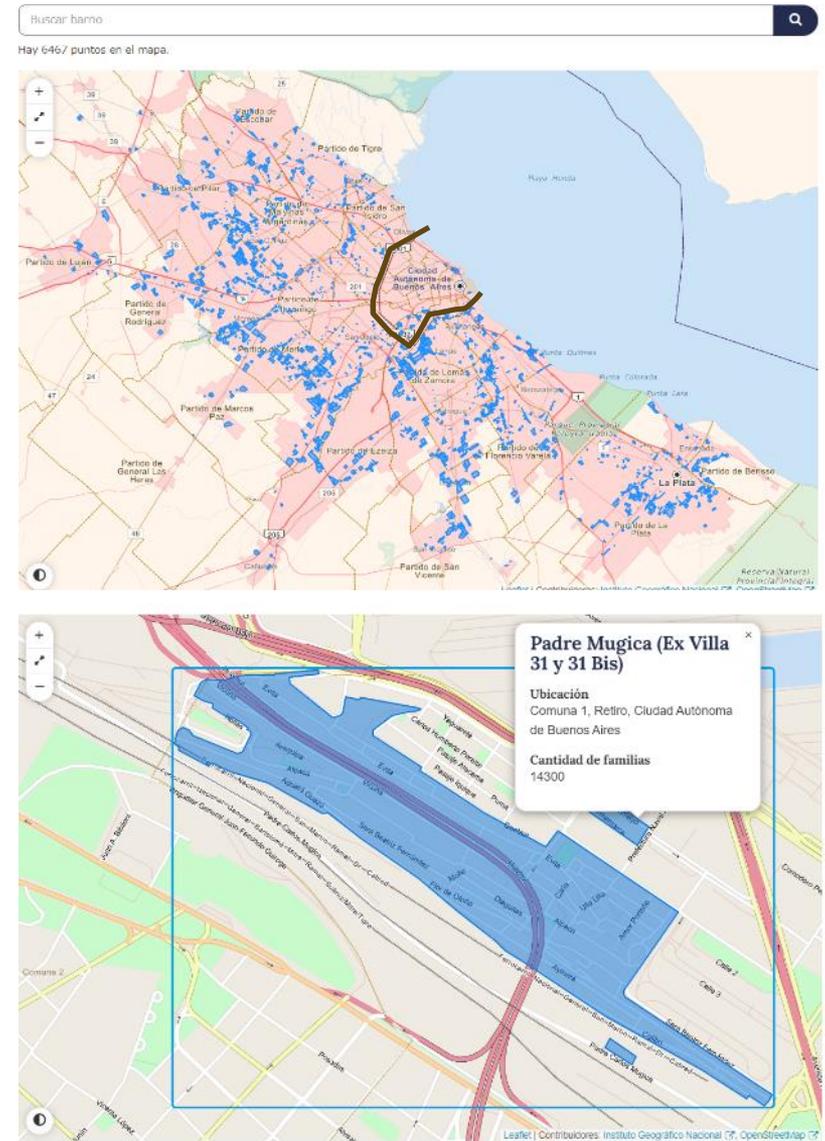
- 絶対に興味本位で近付かない！！(過去に邦人強盗被害発生)
- レティーロ駅北側一帯に大規模な貧困地区(ビジャ31)が広がる。
- 高速道路以南付近の地域は、大小様々な貧困街が点在している。



【Mapa de barrios populares】

<https://www.argentina.gob.ar/habitat/integracion-socio-urbana/renabap/mapa>

- アルゼンチン全土に対応
- 場所、範囲、世帯数(規模)の把握が可能





たびレジに登録するとこんなに安心！

たびレジに登録で
簡易登録で

安心1 出発前から
旅先の安全情報を入手！
「〇〇地区では外国人旅行者を狙ったひったくりが多発しています！」

安心2 旅行中も**最新情報**を受信！
「〇〇地区で外出禁止令が発出されました！」

安心3 現地で事件・事故に巻き込まれても**素早く支援**！
「被害に遭っていませんか？」

安心4 日本にいても**世界の最新情報**を入手！
・△△地区で地震が発生！
・××国で感染症が流行！

外務省
オンライン在留届
ORR(Overseas Residential Registration)net
外務省 在留届電子届出システム

在留届を提出する >

在留届の提出は、外国に住所又は居所を定めて
3か月以上滞在する方が対象です。

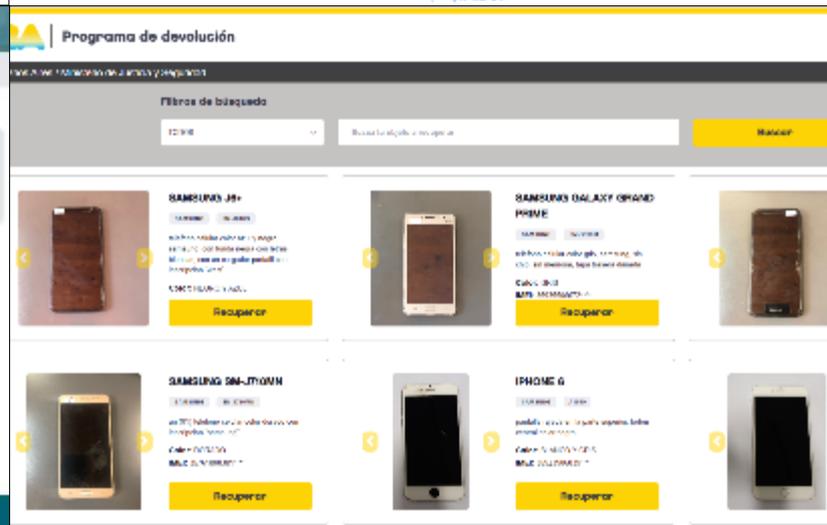
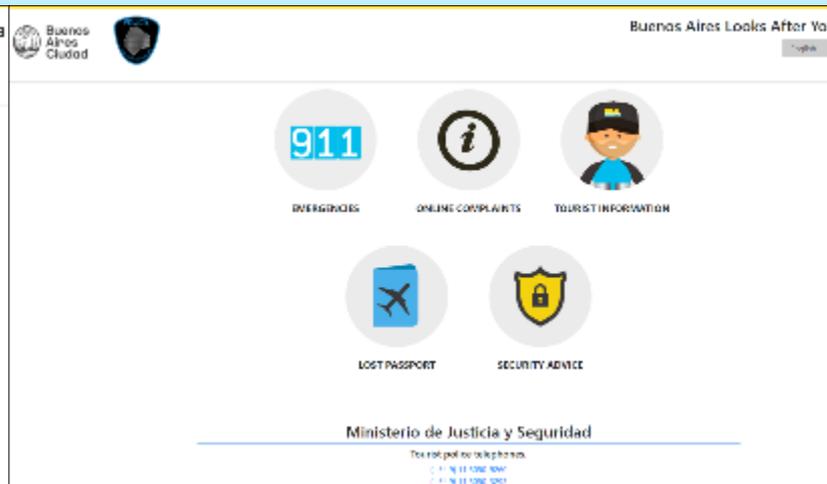
※ 旅券法第16条により、その地域を管轄する日本大使館または総領事館に速やかに在留届を提出することが義務付けられています。

海外転勤になった

海外留学する

海外に**永住・長期滞在**する

- 緊急時の連絡、安否確認、支援などが受けられます。
- 海外安全情報をメールでお届けします。国外旅行・短期出張の際にも是非登録を。



●観光警察サイトを通じてできること(英語版あり)。

- パスポート等の盗難被害に遭った際の被害届提出。
- 当局が回収した携帯電話、パソコンなど盗難被害品の返還請求(別途被害届の提出、盗難品の製造番号等の情報が必要)。
- その他、警察とのチャットによる相談等。